

スクエアダンス・コール作成ソフトのインストール方法(windows 10)

2019.02.21 takao sawada

2020年1月14日。 windows 7 のサポート終了まで約1年と期限が迫ってきました。 **早めに windows 10に移行する必要があります。**そこで、 windows 10へのコール作成ソフト(sd couple , sdty)の移行が必要になってきましたので、自分なりに纏めてみました。

■ windows 10 への sd couple(Ver.39.06 2019/1/21) のインストール方法

- ①【Square dance Caller's Helper】から“SD” Get Sd now!をクリックし、Download install.exe を クリックします。
- ② Download が終了すると、自分のパソコンのダウンロードの場所に “install.exe” が読みこまれます。
- ③インストール前にC: ¥に次のフォルダーを作成します。 ⇒ C: ¥ sd
- ④“install.exe” を実行すると、c: ¥ sdにアプリケーション等が書き込まれます。(既に旧バージョンがある場合は上書します。)

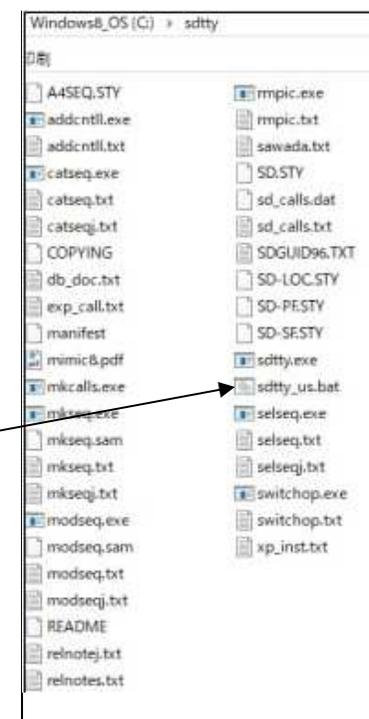
■ windows 10 への sdty(菊池さん改良版 SRC Sd 56.04 2018/9/29) のインストール方法

- ①【菊池さんHP】から“Sd5604s.zip(Sd56.04S)” をクリックし、Download します。
- ② Download が終了すると、自分のパソコンのダウンロードの場所に “Sd5604s.zip” が読みこまれます。
- ③インストール前にC: ¥に次のフォルダーを作成します。 ⇒ C: ¥ sdty
- ④“Sd5604s.zip” を展開すると【フォルダ: Sd5604s】に実行ファイルが作成されます。
- ⑤実行ファイルを C: ¥ sdty に貼り付けます。(既に旧バージョンがある場合は上書きします。)
- ⑥米国のコードページにするため C: ¥ sdty 内に “sdty_us.bat”コマンドを作成します。

```
@echo off
rem Change the active CODE
PAGE to 437 (United States)
CHCP 437
rem sdty, keep all pictures
sdty.exe -kp
```

C: ¥ sdtyの実行ファイル

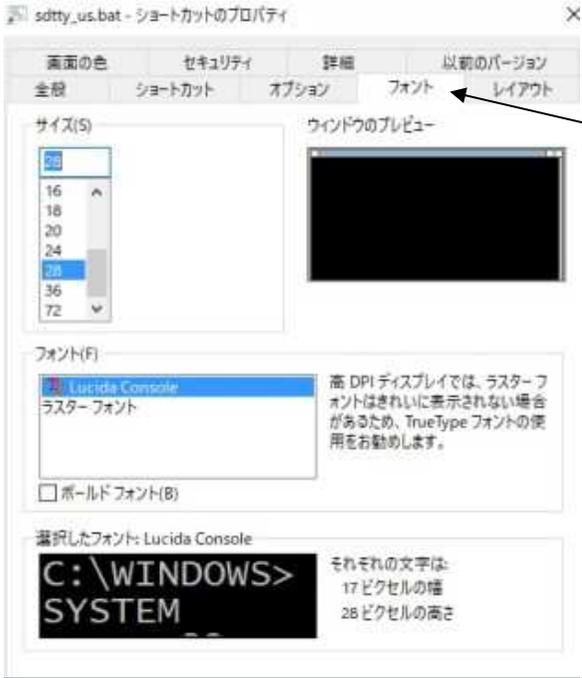
sdty_us.bat



- ⑦ “sdty_us.bat”を右クリックしてデスクトップにショートカットを作ります。
- ⑧デスクトップ上のショートカット“sdty_us.bat”を右クリックして**プロパティ**を開き、フォント等を変更します。
- ⑨デスクトップ上のショートカット“sdty_us.bat”をクリックして sdty を起動させます。



ショートカットのプロパティ
<ショートカット>
リンク先: C:\sdttty\sdttty.exe
作業フォルダー: C:\sdttty



ショートカットのプロパティ
<オプション>

ショートカットのプロパティ
<フォント>
サイズ:
フォント:



ショートカットのプロパティ
<オプション>

(参考資料) 岐阜の藤岡さんのHPを参考にしました。

以下、藤岡さんの資料内容です。 ↓

4) Windows 10の場合

オプションタブで上記の設定をしてもSdtttyのショートカットから起動すると、最初のレベル(A2とかC3とか)が入力できない場合があります。これは「オプション」画面の下の方にある、「従来のコンソールを使う(再起動が必要)」の左のにチェックを入れると入力できるようになります。米国のコードページが表示されない場合、下記のVistaと同様にバッチファイルを作ります。

Windows Vistaの場合、次のようなバッチファイルを作成し(とりあえずファイル名は”sdttty_us.bat”としました)、このバッチファイルをsdtttyと同じフォルダ内へ置きます。バッチファイルの記述は下記のとおりです。(メモ帳で作成できますが、ファイル名を指定するとき、拡張子をtxtでなくbatにします。なおremの行は単なる参考表記ですのでなくてもかまいません)

```
@echo off
rem Change the active CODE PAGE to 437 (United States)
CHCP 437
rem sdttty, keep all pictures
sdttty.exe -kp
```

このファイル”sdttty_us.bat”をダブルクリックすると起動します。このファイルを右クリックしてショートカットを作り、スタートメニューまたはデスクトップへ置くと使いやすいでしょう。

フォントの変更ですが、

- 1) バッチファイルを右クリックしてフォントを変更する。または;
- 2) 起動画面でタイトルバー(最上部)を右クリック→プロパティをクリックしてフォントを変更する。

フォントの設定

- 1) 画面中央のフォント(F) 欄から、フォント名を選択する。例えばLucida Consoleに変わる。
- 2) 「サイズ」も必要に応じ、指定する。
- 3) 画面下方の「OK」をクリックする。
- 4) プロパティ画面が消え、設定完了。

「sdttty.exeへのショートカットアイコンをダブルクリックするとsdtttyが起動します。

操作方法も「[岐阜の藤岡さんのHP](#)」に載っております。そちらを参照ください。

*** 以下 藤岡さんの内容の抜粋です。 ↓ ***

SRC Sdの操作方法について

1)入力

入力方法

これは私もまだあまり使い込んでいませんが、チャレンジの複雑なコールについても入力できますので、Sequence作成には重宝しています。

このソフトの操作はキー入力しかできません。マウスでは操作できません。このSRC Sdを使いたい方はまずブラインドタッチ入力を習得する必要があります。毎日1時間程度練習すれば1週間程度でできるようになります。

使用開始

起動するとレベルの入力が促されます。Enter Dance Level: ここへ例えば”C2”と入力します。

Enter new file name: と出ます。特に指定しなければ、[Enter]キーを押すとSequence.C2になります。

Enter New number: と出ます。特に指定しなければ、[Enter]キーを押すと”1”になります。

Enter label: と出ます。特に指定しなければ、[Enter]キーを押します。

Startup command (press 'Enter' to start a new sequence)> と出ます。

この”SD”は、ボデーフローやハンドワークも考慮されていて警告が出ますので、これには従ったほうがよいと思います。

スタート

スタートは[F1]が heads start、[Shift]+[F1]が sides startとなりますので、[Enter]を押します。スクエア体型からのスタートは単に [Enter]です。

入力のルール

”SD”と違い、ほぼコールどおりに入力すれば受け付けてくれます。

• touch 1/4 and roll, follow your neighbor and spreadなど、そのまま入力できます。

• centers in のコールは centers in と入力できます。”SD”のようにputと入力しても受け付けません。

• all 8 circulate, partner tradeは入力したとおりに動きます。

少し特有のルールがあります。例えば;

• double pass thru ポジションの場合 pass thru と入力しても受け付けません。Centersしか出来なくても centers pass thru [Enter]のように”Centers”の入力が必要です。

ボデーフロー

体型さえ適切であればボデーフローに関係なく動いてしまいますので、コマンドを入力するときにはダンサーの動きがスムーズにつながるよう配慮する必要があります。例えば;

• 男性がEndsのWaveからboys run, bend the lineは男性が前進の動きへ後退の動きが続きスムーズではありません。

• Heads right and left thruからlead to the rightは左回りの動きへ右回りの動きが続きスムーズではありません。

• 4 in line のbend the lineから、flutter wheel や ladies chainは一部のダンサーが後退の動きへ前進の動作がつながり、スムーズではありません。

• * 新しいバージョンではボデーフローが悪いと警告が出るようになりました。

* Centersが左手をとっている2 faced lineやright hand waveからhalf tagを入力すると、これはAwkward for centers(センターがやりにくい)と警告が出ます。

ハンドワーク

スムーズなダンスにするためには、右手と左手が交互になるよう動作をつなぐ必要があります。

• Centers square thru 3/4からright and left thru あるいはtouch 1/4は右手で終わる動作に右手で始まる動作が続きスムーズではありません。

過回転

同一ダンサーと同一方向の回転が続くのは、ダンサーにとって気持ちのよいものではありません。同じ手での回転が続くのは避けるべきです。これは大抵 ”repeated use of same hand” のように警告が出ます。

• Cast Off 3/4, Swing thruは右手で3/4回転、更に右手で1/2回転になります。

Swing Thru, Centers Cast Off 3/4の場合、Centersが1/2+3/4回転になります。

取り消し

コマンドを取り消す場合は [F9] [Enter] または undo [Enter] で1つ前に戻ります。なおGetoutをさせず途中でやめる場合abort [Enter]をキーインします。

Anything Call

Anything コールは大抵そのまま入力すれば受け付けます。

[F8]キーで<any>と表示されますが、複雑なもの以外はかえってこの入力方法はめんどいです。

Star turnの変化

Spin chain the gears, Motivate, Chain Reaction等のStar turnを変化させるには次のように入力します。

spin chain the gears turn the star 1/2、motivate don't turn the star 等。

コメント挿入

insert [Enter]でコマンドとは関係の無いコメントを入れることができます。日本語で入力すると画面では文字が化けますが、保存後日本語対応のアプリケーション(メモ帳、MS Word、Excel等)で読めば日本語も表示されます。

スタート時のLadies Chain

Side ladies chain, heads star thruのような動きは次のような方法で入力します。

・”just [Enter]”または単に[Enter]で開始するとfrom squared setになります。

ここでsides ladies chain [Enter]、heads star thru [Enter]のように入力できます。

・4 ladies chain [Enter]、heads star thru [Enter]はそのまま入力できます。

図の挿入

SD readerでダンサーの体型図を表示するには、最初の起動設定で指定しておきます。

Getout

Getoutはその条件がそろって resolve is: pass thru, left allemande 等表示が出ますので、[F10]を押すと”end this sequence”と出ますので [Enter]をキーインして完了させます。これで作成したシーケンスが保存されます。

但しハンドワークには注意が必要です。square thru 4 の後で left allemande が表示されてしまいます。

その後 Enter new label: という表示が出ますが、単にAcceptをクリックするか、Enter キーを押せば特に指定されません。

コンピュータにGetoutを探してもらうこともでき、resolve [Enter] または[F・4] [Enter]とキーインすれば自動的にそのレベルでのGetパターンができます。その後Enter resolve command: と出るので、accept [Enter]を入力します。これが気に入らなければ”quit” [Enter] または”q” [Enter]で取り消されます。もう一度[F・4] [Enter]を再度キーインすると別のGet out が表示される場合もあります。

その他

DBDなどにもかなり対応しており、賢いソフトだと思います。但し逆に非常に特殊な体型でも無理にやってしまうことがあり、後でその解釈に物議をかもすことがありますので、それぞれの体型からどういうコールを入れるかは自分でよく見極める必要があります。

2) 終了

exit [Enter] と入力すると終了します。ファイル名を特に入力しなければ、sequence.** (**はMS、Plus等)というテキストファイルがSd555sのフォルダ内へ自動的に作成されます。なおこのファイルは同じ名称の場合、再立ち上げたとき前に作ったものが残っていてこれに追加する形で書き込まれます。不要になった段階でsequence.**ファイルをゴミ箱に捨てるか、またはWord等で編集→全て選択→編集→クリア→上書き保存をして内容を削除します。